

参 考 資 料

参考資料 1	調査実施計画認定申請書	1
参考資料 2	総合事業計画認定申請書	5
参考資料 3	連携計画の例	11
参考資料 4	国土交通省中国運輸局 ComPASS アンケート調査票	34

参考資料 1 調査実施計画認定申請書

年 月 日

国土交通省〇〇運輸局長 殿

申請者名
代表者名

平成 年度 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画
認定申請書

地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画の認定を下記のとおり申請します。

記

申請者	申請者名：
	代表者名：
	構成員：
連絡先（事務局等）	所在地（都道府県名も記載）： 〒
	担当者名：
	TEL：
	FAX：
	E-mail：

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

2. 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

3. 調査の内容	
調査の名称	調査の内容
例) 現況交通実態調査	
例) 〇〇利用者ニーズ把握調査	

4. スケジュール				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印 (←→)、または横棒線 (——) で記載。				
調査の名称	4月	9月	12月	3月
例) 現況交通実態調査		————		
例) 〇〇利用者ニーズ把握調査			————	

5. 予算計画			
調査の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
例) 現況交通実態調査	千円	千円	千円
例) 〇〇利用者ニーズ把握調査	千円	千円	千円
例) 事務費	千円	千円	千円
小計	千円	千円	千円

参考資料 2 総合事業計画認定申請書

年 月 日

国土交通省〇〇運輸局長 殿

申請者名
代表者名

〇〇市地域公共交通活性化・再生総合事業計画認定申請書

地域公共交通活性化・再生総合事業計画の認定を下記のとおり申請します。

記

申請者	申請者名：
	代表者名：
	構成員：
連絡先（事務局等）	所在地（都道府県名も記載）： 〒
	担当者名：
	TEL：
	FAX：
	E-mail：

1. 地域公共交通総合連携計画の名称

〇〇市地域公共交通総合連携計画（仮称）

2. 〇〇市地域公共交通活性化・再生総合事業計画の目的

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条に基づく〇〇市地域公共交通総合連携計画（仮称）の円滑かつ確実な実施を確保するため、同計画において実施することとされた事業の円滑かつ確実な立ち上げについて、同計画の計画期間の当初〇年間（最大3年）において、特に、同法第6条に基づく協議会が、地域公共交通活性化・再生総合事業による支援を活用しつつ、取り組むこととする事業について、〇〇市地域公共交通活性化・再生総合事業計画（「総合事業計画」）として以下のとおりとりまとめ、計画的かつ効率的・効果的な実行を確保することを目的とする。

3. 総合事業計画の全体事業計画

（1）全体事業計画の目標

（目標）

法定計画の目標を引用しつつ設定する等、3年間の計画全体での事業の総合的目標を設定。

（評価事項）

例)

- ・公共交通の空白地域の解消
- ・病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
- ・行政コストの抑制
- ・鉄道、バスの活性化
- ・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上

※複数の事業について、まとめて評価事項を記載することが可能。

(2) 全体事業計画の事業スケジュール

以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印 (←→)、または横棒線 (——) で記載。

事業の名称	平成〇〇年度				平成〇〇年度				平成〇〇年度			
	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月	4月	9月	12月	3月
例) コミュニティバス の実証運行	実証運行 —————											
例) コミュニティバス の導入									車両購入、 バス停の設置 ●————— (運行)			
例) ダイヤモンドバスの 導入					システム開発、 設備整備 —————●				(準備会 立ち上げ) (運行)			
例) 公共交通サービス に関する情報提供									交通マップ作成 HP作成 —————●————— (準備会 (供用) 立ち上げ)			

(3) 全体事業計画の事業費等

事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
例) コミュニティバス の実証運行	千円	千円	千円
例) コミュニティバス の導入	千円	千円	千円
例) ダイヤモンドバスの 導入	千円	千円	千円
例) 公共交通サービス に関する情報提供	千円	千円	千円
小計	千円	千円	千円

4. 総合事業計画の各年度事業計画			
4-1. 初年度（平成〇〇年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
例) コミュニティバス の実証運行	例) ・〇〇地域でコミュニティバスを実証運行し、潜在需要の喚起を試行する。	例) 〇〇市 〇〇交通（株）	例) ・公共交通の空白地域の解消 ・病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
例) コミュニティバス の実証運行	千円	千円	千円
小計	千円	千円	千円

4-2. 2年度（平成〇〇年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
例) コミュニティバス の実証運行	例) ・〇〇地域でコミュニティバスを実証運行し、潜在需要の喚起を試行する。	例) 〇〇市 〇〇交通（株）	例) ・公共交通の空白地域の解消 ・病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
例) ダイヤモンドバスの 導入	例) ・〇〇地域でダイヤモンドバスを導入し、利用者の利便性の向上を図るとともに、持続可能な事業とする。	例) 〇〇市	
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
例) コミュニティバス の実証運行	千円	千円	千円

例) ダイヤモンドバスの 導入	千円	千円	千円
小計	千円	千円	千円

4-3. 3年度（平成〇〇年度）事業計画			
(1) 事業計画の概要（目標）等			
事業の名称	事業の概要（目標）	実行主体	評価事項
例) コミュニティバスの 導入	例) ・〇〇地域でコミュニティバスを本格導入し、需要の定着を図る。	例) 〇〇市 〇〇交通（株）	例) ・公共交通の空白地域の解消 ・病院、学校等へのアクセス向上等住民の生活の質的向上
例) ダイヤモンドバスの 導入	例) ・〇〇地域でダイヤモンドバスを導入し、利用者の利便性の向上を図るとともに、持続可能な事業とする。	例) 〇〇市	・行政コストの抑制 ・バスの活性化 ・住民の公共交通の利便性等に対する満足度の向上
例) 公共交通サービスに関する情報提供	例) ・〇〇バスと〇〇鉄道の総合交通マップの作成、乗り継ぎ情報案内のためのHP作成により、公共交通の利便性の向上を図る。	例) 〇〇市 (特)〇〇法人	
(2) 事業費等			
事業の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
例) コミュニティバスの 導入	千円	千円	千円
例) ダイヤモンドバスの 導入	千円	千円	千円

例) 公共交通サービス に関する情報提供	千円	千円	千円
小計	千円	千円	千円

参考資料 3 連携計画の例

岐阜市地域公共交通総合連携計画

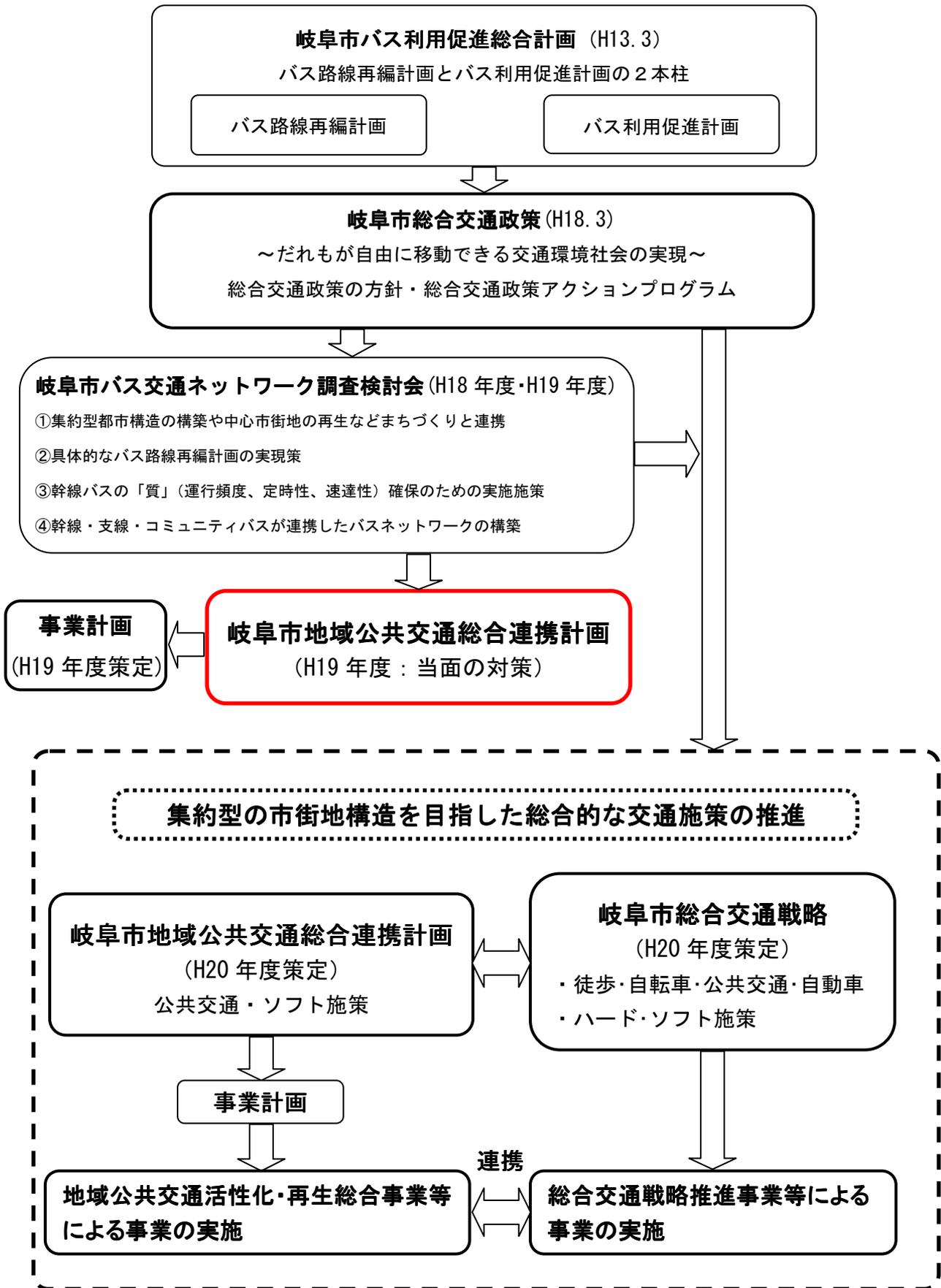
岐 阜 市

平成20年9月

目 次

岐阜市総合交通体系の経緯	・・・	1
① 岐阜市における公共交通の現状と課題	・・・	2
② 公共交通体系の基本方針	・・・	7
③ 地域公共交通総合連携計画の区域	・・・	8
④ 地域公共交通総合連携計画の目標	・・・	9
⑤ 事業及び事業主体	・・・	13
⑥ 計画期間	・・・	14
参考（事業内容関連資料）	・・・	15

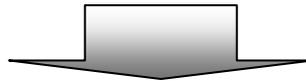
〔 岐阜市総合交通体系の経緯 〕



1 岐阜市における公共交通の現状と課題

現 状

- 減少する公共交通（路線バス）利用と増加する自動車利用
- 中心市街地で大きく減少し、郊外部で増加する交通量
- 公共交通（路線バス）事業の収支状況悪化



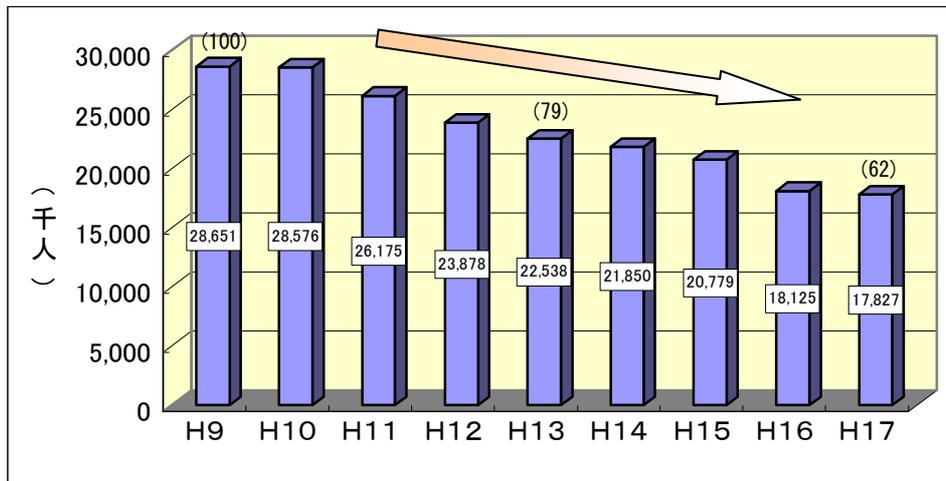
課 題

- 公共交通の活性化と自動車から公共交通への転換
- バス事業者の経営改善とバス路線の維持
- 利用者の視点に立った公共交通網の構築

(1) 減少する公共交通（路線バス）利用

- 岐阜市のバス交通は、岐阜市交通部及び名鉄バスの路線譲渡などにより、岐阜乗合自動車(株)に一社化され、現在に至っている。
- バス利用者数は年々減少傾向にあり、平成9年度を100とした場合、平成17年度は62まで減少している。

図表 バスの年間利用者数の推移

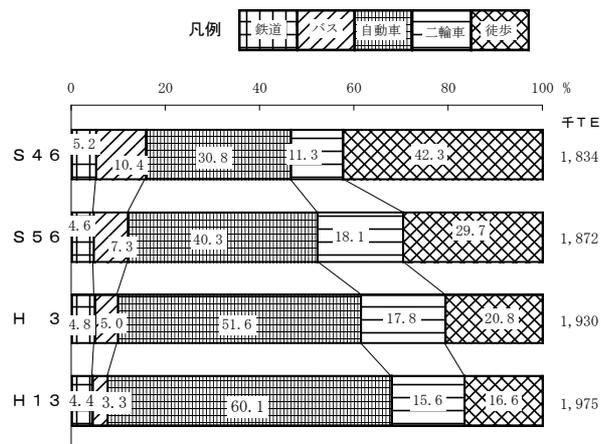


(資料：岐阜市、岐阜乗合自動車(株))

(2) 増加する自動車利用

- 代表交通に占める自動車の割合は増加傾向にあり、約 60%を占めるに至っている（第4回中京都市圏パーソントリップ調査）。また、少子高齢化を踏まえた自動車利用率は、平成 37 年に約 63%まで高まることが予想されている（岐阜市総合交通体系策定業務委託報告書：H17.3）。

図表 岐阜市代表交通手段構成の推移

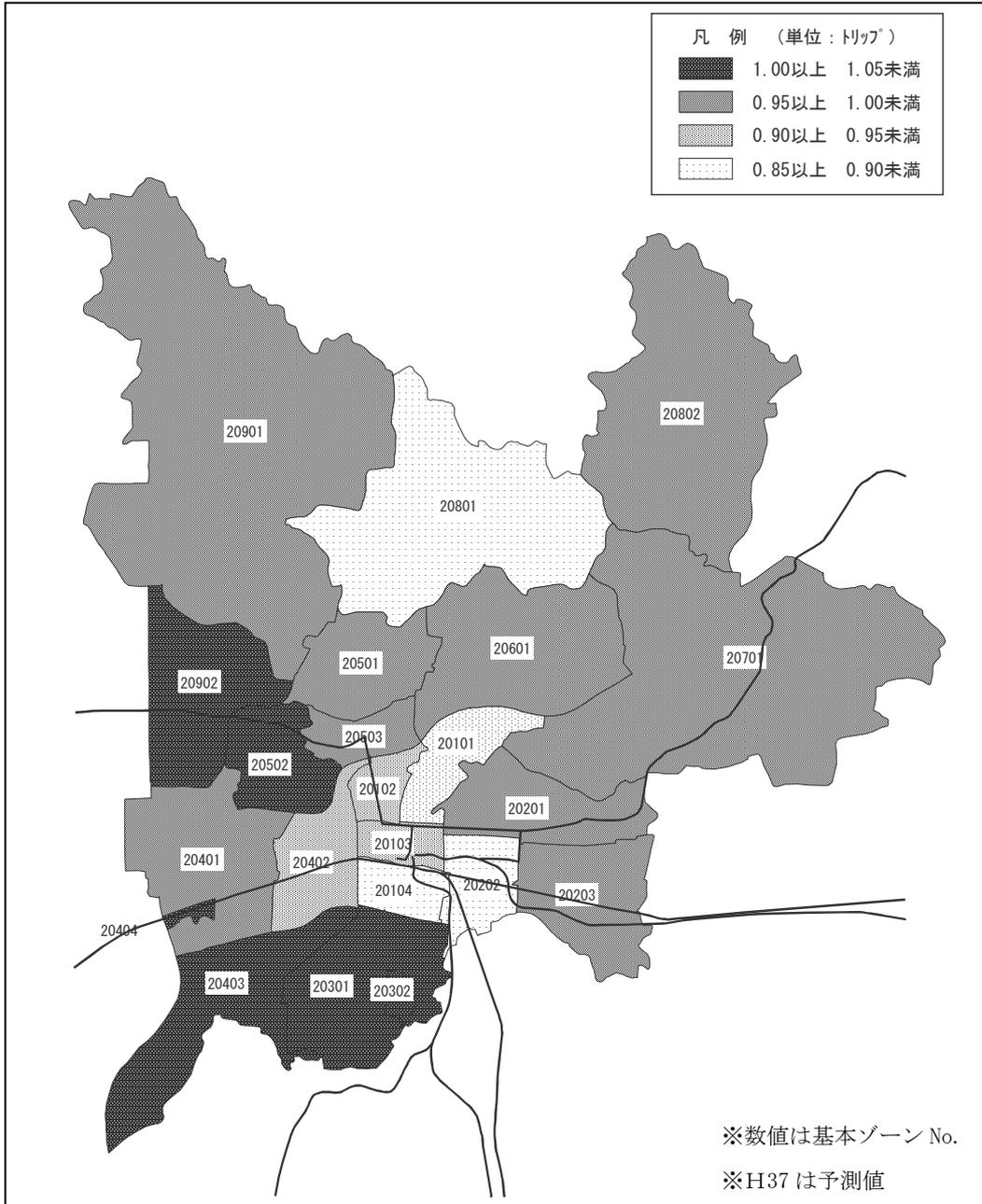


(資料：第4回中京都市圏パーソントリップ調査)

(3) 中心市街地で大きく減少し、郊外部で増加する交通量

●岐阜市内の基本ゾーン別発生集中交通量予測の伸び（H37/H13）をみると、全体的に減少傾向ではあるが、特に中心部ゾーンにおける減少率が大きく、郊外部では増加しており、中心部における人口及び都市活動の減少が予測される。

図表 ゾーン別発生集中交通量の伸び率（H37/H13）基本ゾーン別

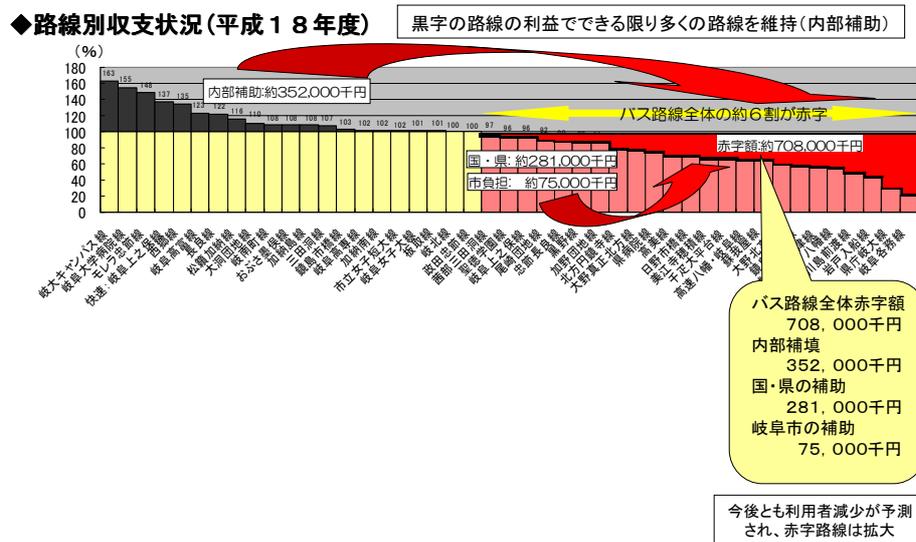


（資料：第4回中京都市圏パーソントリップ調査）

(4) 公共交通（路線バス）事業の収支状況悪化

- 路線別の収支状況をみると、事業者の内部補助では赤字額を解消できず、行政の補助により補填している。（平成18年度実績：岐阜乗合自動車(株)資料）
- 現状のままでは、今後も利用者が減少し赤字路線が拡大することにより、さらに収支状況が悪化することが想定される。

図表 路線別収支状況と利用者数の推移予測



(資料：岐阜乗合自動車(株)提供)

2 公共交通体系の基本方針

- ① 公共交通、自動車、自転車、歩行者等、それぞれの交通手段のバランスがとれた交通システムを構築する。
- ② 車を運転できない高齢者など、交通弱者をはじめとした市民の移動を確保する。
- ③ 市民生活の質の向上を図るとともに、都市活動を支え、都市活力を高める。

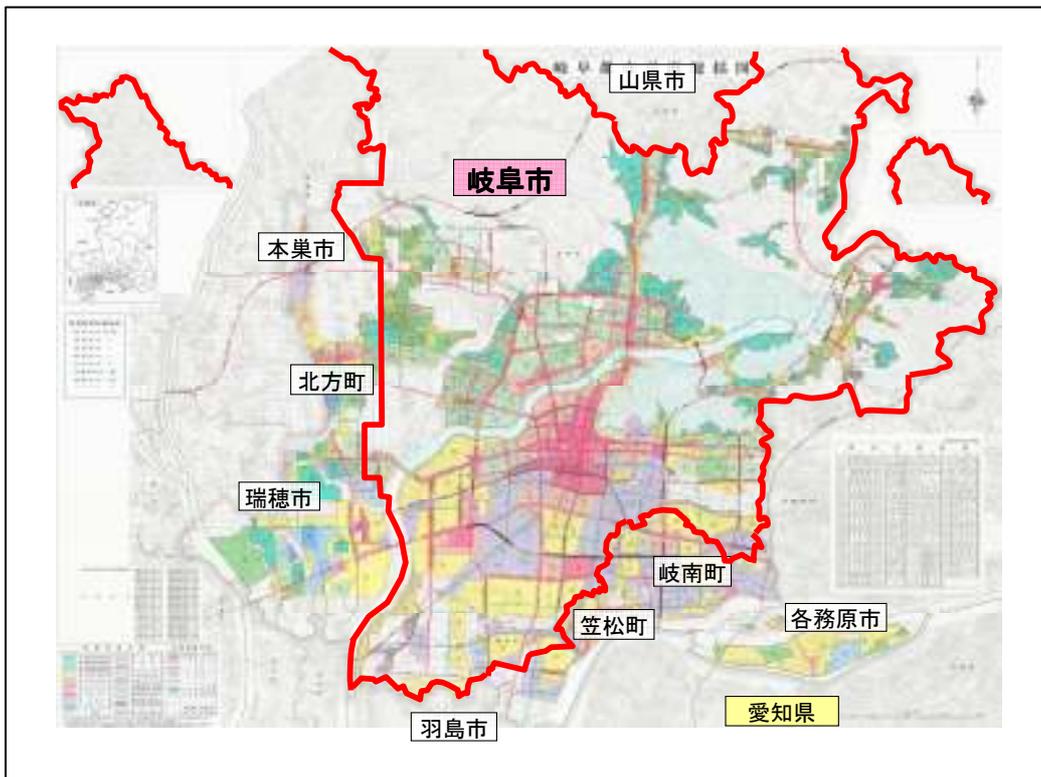
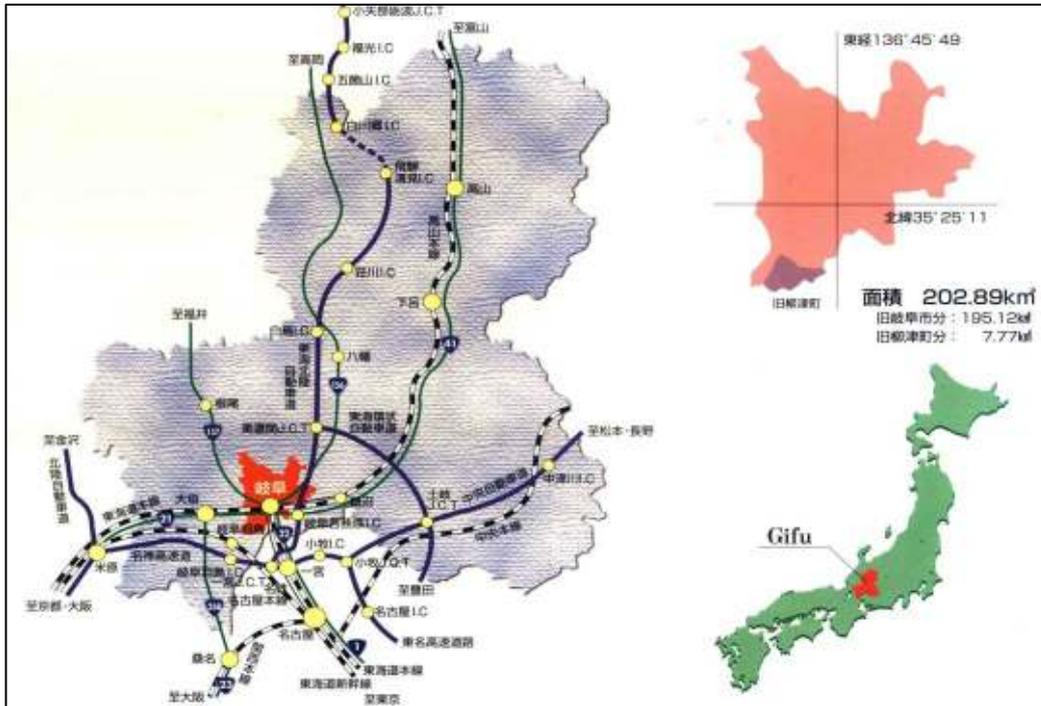
図表 公共交通ネットワークイメージ



(資料：岐阜市総合交通政策(H18.3))

3 地域公共交通総合連携計画の区域

計画区域は、特に、通勤・通学、買い物、通院など日常生活に密接に関係する区域として、岐阜市域とする。



4 地域公共交通総合連携計画の目標

【目 標】

- ① 幹線・支線・コミュニティバス等が連携したバスネットワークの確立を図る。
- ② 幹線バス路線のサービス（速達性、利便性）の向上により、岐阜駅から路線延長約10km圏を30分到達圏域とする。
- ③ 円滑な乗り継ぎ環境の整備を推進する。
- ④ バスロケーションシステム・ICカードの活用など利用環境の向上を図る。
- ⑤ ハイブリッドバス・ノンステップバスなどの導入により環境・バリアフリー対策を推進する。

岐阜市の都市内交通としてバス交通の果たす役割は極めて大きく、基幹公共交通として、バス路線を「わかりやすく」「便利」で「使いやすい」幹線・支線へと再編する必要がある。

(1) バス再編の基本方針

- 幹線と支線とに分割した路線によって、路線網を構築し、幹線と支線および他のモードとの円滑な乗り継ぎに資する乗り継ぎ拠点を設置する。
- 幹線は、8放射を基本とし、利用者が多く見込まれる区間は、同一の起終点間を高頻度かつ定時で運行するサービスを提供するとともに、快適なバス利用環境の創出を図る。
- 支線区間は、地域のニーズに応じた運行サービスを提供するとともに、必要に応じ幹線からの直接乗り入れを行う。
- 利用者の視点に立った情報を提供し、バス利用のわかりやすさの向上を図る。

<幹線・支線の役割>

- 幹線区間における運行頻度、定時性及び速達性を確保することにより、バス交通による公共交通軸の形成を図る。
- 利用者が多い幹線区間において高頻度、定時運行によるサービスの提供を図る。
- 支線区間においては、需要に応じた運行サービスの適正化を図る。

広域的バス幹線

～岐阜市を中心とする広域的都市構造を支える～

岐阜都市圏における中心都市として、より中核性・中枢性を高めるために都市間連携の強化を進め、広域公共交通軸としての機能を強化する。

都市内バス幹線

～拠点相互を連絡し、岐阜市の将来都市像を支える～

8幹線は、JR岐阜駅、名鉄岐阜駅を内包する都心地区を中心とする放射軸であり、支線と一体的に機能することにより市内に分布する地域を相互に連絡し、公共交通ネットワークを形成する機能を有しており、都市内バス幹線として重要な役割を果たす。

8 幹線の設定

N ; 長良方面	G ; 鏡島方面
K ; 金華方面	W ; 西加納方面
C ; 忠節方面	E ; 東加納方面
O ; 大縄場方面	B ; 梅林方面

(2) サービス水準目標の設定

<幹線の運行間隔>

a) 市街地部における幹線の運行間隔は、**ピーク時、オフピーク時を通じ（早朝・深夜を除く）、10分以内**とするとともに、**ピーク時は需要に応じ、輸送力強化を目指す。**

〔 なお、上記運行間隔は、1日概ね180本/日・往復*に相当する。
※日運行本数 = $2 \times (\text{ピーク本数} \times 4\text{h} + \text{日中本数} \times 9\text{h} + \text{早朝・深夜本数} (\text{日中の} 1/2) \times 4\text{h})$ 〕

<幹線の走行環境>

b) 広域幹線は、**ピーク時旅行速度20km/h以上（路線全体）**を目指す。

→岐阜市内の市街地を概ね30分でカバーできる水準（岐阜駅から路線延長約10km付近）

c) 幹線は、定時性を確保するため、**変動係数が15%未満**（平均的なバス所要時間23分に対し、所要時間の差が概ね4分以内となるバスが全体の7割を占める）を目指す。

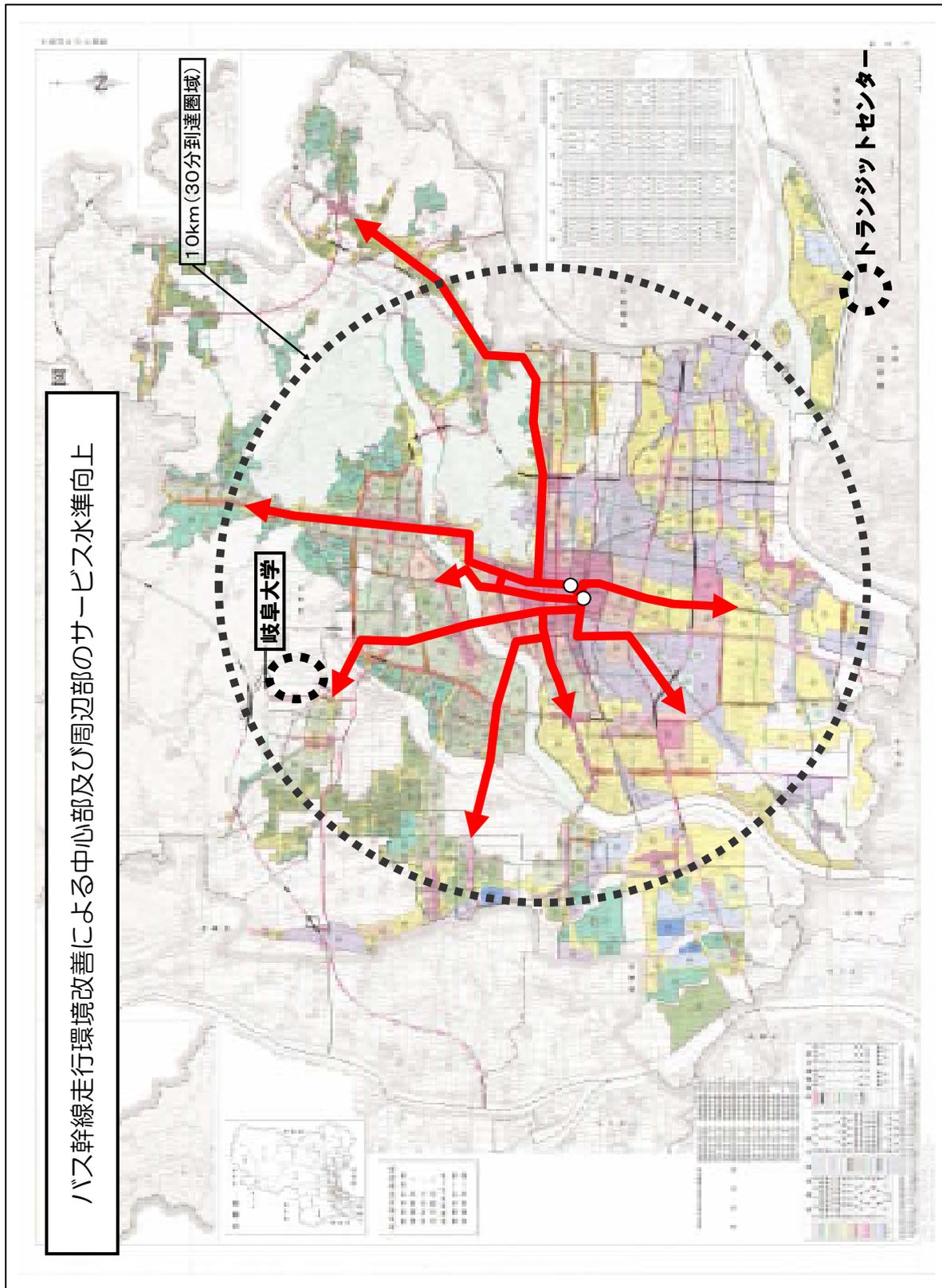
<その他>

d) 幹線は他の交通手段との**円滑な乗り継ぎが可能**となる環境整備を行う。

- ・ 幹線は、鉄道の運行時間帯を踏まえた運行時刻とする。
- ・ 支線は、幹線との円滑な乗り継ぎが可能となる運行時刻とする。
（支線の運行水準は、1時間当たり1本以上を目安とする）
- ・ バス停留所を適正に配置するとともに、安全かつ快適なバス待ち環境を創出する。
- ・ 支線等その他交通手段への乗り継ぎ情報等を提供する。

e) 満車状態をなくし、**快適なバス車内環境の創出**を図る。

f) 幹線・支線の区分に伴う乗り換え抵抗の軽減に資する料金体系の見直しを図る。



5 事業及び事業主体

事業名	内容	事業主体
1) 8幹線、市街地循環線を核とするバス路線再編		
①岐阜大学・岐阜大学付属病院を核としたバス路線再編【忠節橋通り】		
a コミュニティバスへのICカード搭載 【黒野・西郷地区】	ICカード車載運賃箱作成 ICカード読み取り機 ソフト作成費	協議会 岐阜市
b パーク&ライド、サイクル&ライド	病院等の駐車場借り上げ	協議会 岐阜市
c 広報	PRチラシ	協議会 岐阜市
d 調査・検証	アンケート、OD調査、ICカード分析 検証費用	協議会 岐阜市
e 必要規模の検討	P&R、C&R利用者数分析 滞留調査・分析 必要施設規模検討	協議会 岐阜市
f 乗継抵抗低減施策の効果検討	利用者アンケート分析	協議会 岐阜市
g コミュニティバスとの連携	乗り継ぎ分析	協議会 岐阜市
h 路線再編PR		協議会 岐阜バス
i バス路線再編運賃表示器改修	LED、音声合成、運賃表示改修等	協議会 岐阜バス
j 実証実験費用	運行経費	協議会 岐阜バス
2) バス路線の情報提供		
①バスロケーションシステム表示機	岐阜大学病院2・岐阜大学1・国際会議場1	協議会 岐阜バス
②バスロケ機能強化（ソフト改良費）	発車時刻表示、外国語対応	協議会 岐阜バス
③インターネット・携帯電話端末によるバスロケ機能強化 （ソフト改良費）	岐阜バスナビ改良	協議会 岐阜バス
3) コミュニティバスの充実		
①コミュニティバス試行運行費用	新規地区 （中心市街地東部、芥見東・芥見南、黒野・西郷、藍川 の4地区）	協議会 岐阜市
②コミュニティバスへのICカード車載機導入	ICカード車載運賃箱作成 ICカード読み取り機 ソフト作成費 （黒野・西郷地区は岐阜大学路線再編で計上するため除く）	協議会 岐阜市
4) 利便性向上施策		
①運賃制度の見直しに係る広報・宣伝 （ICカードの拡充と機能の徹底活用）	一日フリー乗車券制度 100円ゾーン運賃 上限価格制や近距離の低運賃化 【H20年度：広報費用】	協議会 岐阜バス 岐阜市
5) 環境対策・バリアフリーの推進		
①ノンステップバスの導入	2台	協議会 岐阜バス
②ワンステップバスの導入	16台	
③ハイブリットバスの導入	2台	
6) わかりやすいバス案内		
①バス総合案内板（JR岐阜駅）	JR岐阜駅北口駅前広場 3箇所	協議会 岐阜市
②バス総合案内板（名鉄岐阜駅）	名鉄岐阜駅周辺 2箇所	協議会 岐阜バス
7) バス交通PR施策		
①市内バスマップの印刷	路線バス、コミバス市内路線図	協議会 岐阜バス 岐阜市

6 計画期間

計画期間は、中長期的なバス交通体系を視野に入れつつ、平成20年度とする。

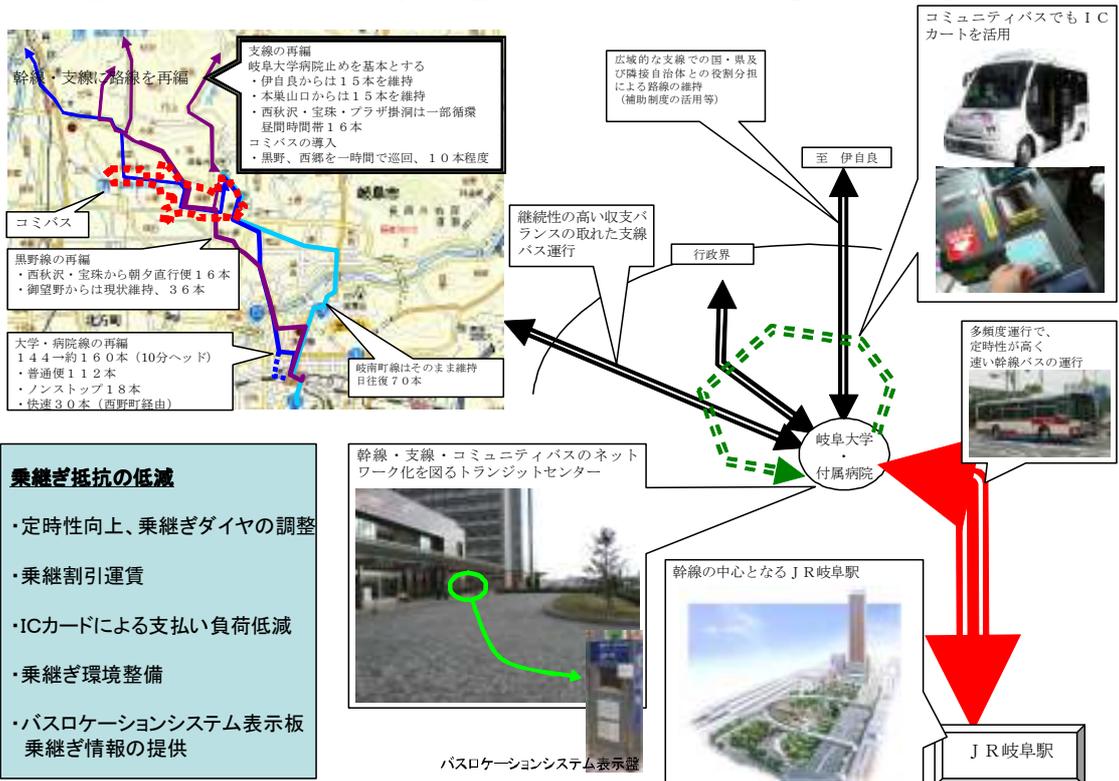
参 考
(事業内容関連資料)

1 8幹線、市街地循環線を核とするバス路線再編

- ◆幹線・支線バスへのバス路線の再編によりわかりやすいバス路線網を構築
- ◆岐阜駅を中心とした8幹線と支線・コミュニティバスによりネットワークを構築



1-①岐阜大学・岐阜大学付属病院を核としたバス路線再編【忠節橋通り】



2 バス路線の情報提供

2-①バスロケーションシステム表示機（拡充）

バス路線再編を進める幹線バス路線の主要バス停などに、バスロケーションシステム表示機を設置する。

〔設置イメージ〕



2-②バスロケーションシステム機能強化（ソフト改良）

現在のバスロケーションシステムによるバスの運行状況・接近状況の情報表示を、より見やすく、わかりやすく機能を強化するために、システムの改良を行う。

◇システム改良内容（例）・・・発車時刻の表示、外国語表示など

〔現在の情報表示〕

病院行き	おおよそ10分遅れで
おおよそ10分遅れで到着します	
おぶさ行き	おおよそ20分遅れ
人野バスセンター行き	まもなく
ンブ場行き	まもなく到着しま
車内での携帯電話は周知の方075:38	



〔改良イメージ（例）〕

運行状況		10時
K38	おおよそ10分遅れで	8 28 33
N41	おぶさ行き おおよそ	12 32
O85	A bus for Oono Bu	7 12 53
C71	ンブ場行き まもなく	30 43
車内での携帯電話は周知の方075:38		

2-③インターネット・携帯電話端末によるバスロケーションシステム機能強化 (ソフト改良)

現在行っているインターネット・携帯電話端末を活用した乗り換え案内や料金案内、運行状況などの情報発信を、より簡単に、わかりやすくできるように、システムの改良を行う。

【現在のインターネット画面】



3 コミュニティバスの充実

『市民協働の手づくりコミュニティバス』を、地域住民と協働で全市的な展開を図る。



【市民との協働】



【ICカード導入】



4 利便性向上施策

4-① 運賃制度の見直しに係る広報・宣伝

一日フリー乗車券制度 (土日エコ切符)

土日祝日のバス利用者が少ない
(平日と比較)

土日祝日のマイカーによる買い物が多い
(駐車場待ち・道路の混雑)

通常の料金よりお得な価格の設定

- ・土・日・祝日のみ
- ・1日フリー乗車券

バス利用者の増加

- 運賃収入の増加
- 道路混雑の緩和
- (CO2排出削減)



イメージ

■ 中心市街地における100円ゾーン運賃の導入(わかりやすい運賃導入)

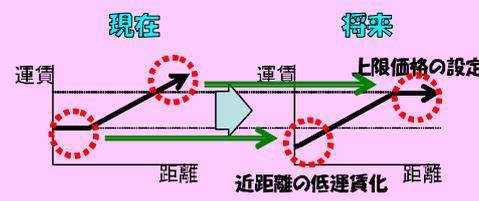
中心市街地



100円ゾーン

■ 上限価格制や近距離の低運賃化

現在 将来



近距離の低運賃化

◆ ICカードの拡充と機能の徹底活用

■ 幹線と支線、幹線とコミバス等乗継割引

ICカードを活用した乗継の利便性向上

幹線



支線・コミバス



バス停



ICカード活用



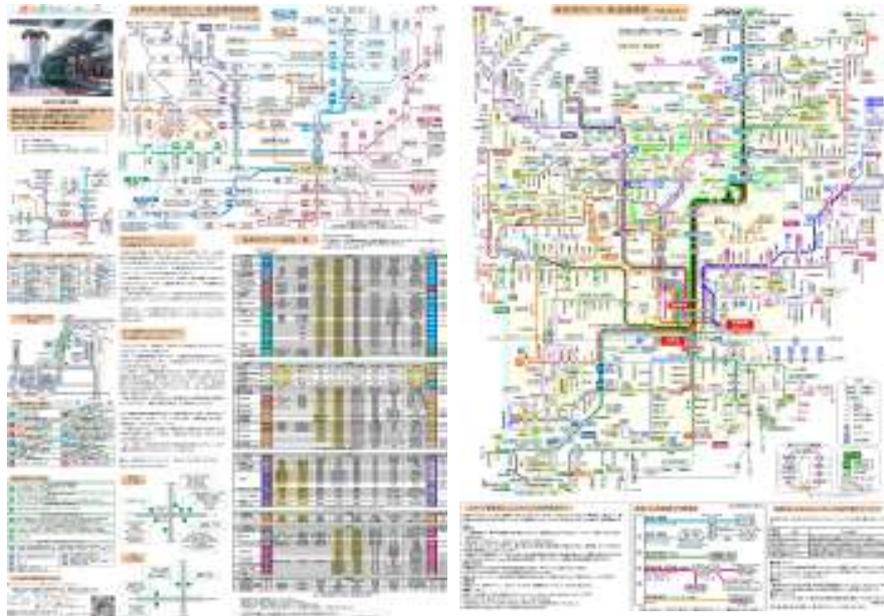
運賃制度改革

- ・乗継ぎポイントの屋間帯拡大
- ・土日利用促進のためのポイント拡充
- ・エコ切符などのフリー乗車券の拡充
- ・中心市街地100円ゾーン運賃
- ・上限価格制、近距離の低運賃化

7 バス交通PR施策

◆市内バスマップの印刷

岐阜市内バスマップの提供



参考資料 4 国土交通省中国運輸局
ComPASS アンケート調査票

公共交通機関に関するアンケート調査(例)

A はじめに、世帯全体のことについておたずねします。

必須

問1 あなたの世帯について、お答えください。

住 所	〇〇郡 〇〇市()組 または 〇〇町()自治会
世帯内の車	世帯内にある自家用車の台数 _____ 台

問2 あなたの世帯の方全員の一人ひとりについて、お答えください。

この番号が世帯人員それぞれの方の番号となります。

表Aから 1つを選んで番号を記入してください。

表Bから 1つを選んで番号を記入してください。

必須

番号	性別	年 齢 (H13年9月1日 での満年齢)	主な仕事	免許証	個人が自由に 使える自動車 など	日頃、外出の 際に使う主な 交通機関
1	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり	【 】
	2. 女			2. なし	3. なし	
2	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり	【 】
	2. 女			2. なし	3. なし	
3	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり	【 】
	2. 女			2. なし	3. なし	
4	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり	【 】
	2. 女			2. なし	3. なし	
5	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり	【 】
	2. 女			2. なし	3. なし	
6	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり	【 】
	2. 女			2. なし	3. なし	
7	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり	【 】
	2. 女			2. なし	2. バイクあり	

	2. 女			2. なし	3. なし	
8	1. 男	【 歳】	【 】	1. 自動車等の 免許あり	1. 自動車あり 2. バイクあり	【 】
	2. 女			2. なし	3. なし	

表A	1. 会社員等の勤め人	2. 自営業（農業・商工業等）	3. 学生
	4. 専業主婦	5. 無職	

表B	1. 自転車	2. バス	3. タクシー	4. バイク	5. 自家用車で送迎
	6. 自分で運転する車	7. その他（			）

B

世帯内でどなたか 1 名がお答えください。お答えになる方は、できるだけ高齢の方や免許を持っていないなど、なるべく普段バスが必要な方を優先してください。

問3 お答えになる方の「番号」（問2の表の一番左の列の数字）をご記入ください。

番号 【 】

問4 自宅から最寄のバス停までの距離又は時間はどれくらいですか。

必須

約 _____ m 又は 徒歩で _____ 分

問5 外出のときの交通手段についてお答えください。外出したいときに、利用できる交通機関がなくて困ることがありますか。

1. 困ることがある	2. 困ることはない
------------	------------

問6 問5で「1.困ることがある」と答えた方のみがお答えください。バスなどの公共交通機関のサービスを、どのように改善すれば利用できるようになりますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. バス停を自宅の近くにする	2. 料金を安くする	3. 運行本数を増やす
4. 運行のダイヤを改善する	5. バスの目的地を増やす	
6. 車椅子などでも乗車できるように車両をバリアフリー化する		
7. その他（		）

問7 あなたが外出のときに使う交通機関はなんですか、あてはまるものすべてに○をつけてください。また、一番よく利用するものに◎をつけてください。

1. 自転車	2. バス	3. タクシー	4. バイク	5. 自家用車で送迎
6. 自分で運転する車	7. その他（			）

問8 問7でバスを利用すると答えた方のみがお答えください。「バス」を利用した外出について、1ヶ月の回数を往復を1回としてお答えください。下の表の全ての欄にご記入ください。 **必須**

①バスであなたが1ヶ月に外出する平均回数（往復を1回）	1ヶ月に約_____回
バスで行う外出の目的ごとにお答えください。 全てに記入 してください。 (1回の外出でいろいろな目的がある場合は、1番主要なものを選んでください。例えば、通院のついでに買物をする場合は「通院目的の外出」としてください。)	
②知人・友人宅への外出	1ヶ月に約_____回
③買物目的の外出	1ヶ月に約_____回
④通勤・仕事の外出	1ヶ月に約_____回
⑤通院目的の外出	1ヶ月に約_____回
⑥趣味・娯楽目的の外出	1ヶ月に約_____回

問9 問7でバスに○をつけなかった方にお聞きします。今後バスの運行サービスが良くなれば、利用すると思いますか。 **必須**

1. 利用する	2. 利用しない
---------	----------

問10 問7で「バス」に○をした方、問9で「利用する」と答えた方にお聞きします。下の表にあるA、B、Cについて、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。

A	B	C
バス停までの距離 についてお聞きします。最大どのくらいの距離までならばバスを利用しても良いですか。	料金 についてお聞きします。最高どのくらいの料金までならばバスタクを利用しても良いですか。	運行本数 についてお聞きします。最低どのくらいの間隔で運行すればバスを利用しても良いですか。
1. 自宅まで送迎 2. 200m以内 3. 400m以内 4. 600m以内 5. 800m以内 6. 1km以内 7. 1.5km以内 8. 2.0km以内 9. その他 ()	1. 100円以下 2. 200円以下 3. 300円以下 4. 400円以下 5. 500円以下 6. 600円以下 7. 700円以下 8. その他 () ※地域の実態にあわせ設定	1. 1日に10往復以上 2. 1日に8往復以上 3. 1日に6往復以上 4. 1日に4往復以上 5. 1日に2往復以上 6. その他 () ※地域の実態にあわせ設定

問11 現在お住まいの集落での生活について、あなたのお考えに最もあてはまるもの一つに○印をつけてください。①～⑧すべてにお答えください。

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足
① お住まいの集落からの移動のしやすさについて	1	2	3	4	5
② 医療機関での診療の受けやすさについて	1	2	3	4	5
③ 福祉サービスの受けやすさについて	1	2	3	4	5
④ 役場など公共サービスの受けやすさについて	1	2	3	4	5
⑤ 買物のしやすさについて	1	2	3	4	5
⑥ 文化・スポーツ等の活動のしやすさについて	1	2	3	4	5
⑦ 知人・友人との交流のしやすさについて	1	2	3	4	5
⑧ 総合的な生活のしやすさについて	1	2	3	4	5

必須

問12 現在、あなたがよく利用している買物先はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| 1. ショッピングセンター○○ | 2. くみあいマーケット○○ | 3. ショッピングセンター○○ |
| 4. くみあいマーケット○○ | 5. くみあいマーケット○○ | 6. ショッピングセンター○○ |
| 7. ○○市のショッピングセンター | 8. ○○町のショッピングセンター | |

※地域の実情にあわせ、近隣市町村の買い物先もリストアップしておいてください。

12. その他（名称 _____、住所 _____）

問13 買物目的で、新しくご自宅からバスを運行して欲しい場所がありますか。バス路線を増やして欲しい買物先一つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| 1. ショッピングセンター〇〇 | 2. くみあいマーケット〇〇 | 3. ショッピングセンター〇〇 |
| 4. くみあいマーケット〇〇 | 5. くみあいマーケット〇〇 | 6. ショッピングセンター〇〇 |
| 7. 〇〇市のショッピングセンター | 8. 〇〇町のショッピングセンター | |

※地域の実情にあわせ、近隣市町村の買い物先もリストアップしておいてください。

12. その他（名称 _____、住所 _____）

問14 現在、あなたが通院やリハビリなどで利用している主な医療機関はどこですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1. 〇〇総合病院 | 2. 〇〇病院 | 3. 〇〇診療所 | 4. 〇〇病院 |
|-----------|---------|----------|---------|

※地域の実情にあわせ、近隣市町村の医療機関もリストアップしておいてください。

9. その他（名称： _____、住所： _____）

問15 通院やリハビリなどの目的で、新しくご自宅からバスを運行して欲しい場所がありますか。バス路線を増やして欲しい医療機関一つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1. 〇〇総合病院 | 2. 〇〇病院 | 3. 〇〇診療所 | 4. 〇〇病院 |
|-----------|---------|----------|---------|

※地域の実情にあわせ、近隣市町村の医療機関もリストアップしておいてください。

9. その他（名称： _____、住所： _____）

問16 現在運行している「バス」の運行について、あなたのお考えに最もあてはまるもの一つに○印をつけてください。①～⑪すべてにお答えください。

	満 足	やや 満足	どちら でも ない	やや 不満 足	不 満 足
① 運行本数について	1	2	3	4	5
② 運行の時間帯について	1	2	3	4	5
③ 料金について	1	2	3	4	5
④ 運行経路または行き先について	1	2	3	4	5
⑤ 目的地までの乗車時間について	1	2	3	4	5
⑥ 始発便の時間について	1	2	3	4	5
⑦ 最終便の時間について	1	2	3	4	5
⑧ 自宅からバス停までの距離について	1	2	3	4	5
⑨ 高速バスなど広域バスとの乗り継ぎについて	1	2	3	4	5
⑩ 車椅子や電動三輪車での利用について	1	2	3	4	5
⑪ 総合的な「バスのサービス内容」について	1	2	3	4	5

必須